

平成27事業年度

決算の概要

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

公立大学法人九州歯科大学

平成27年度決算の概要

I 貸借対照表

資産総額は、固定資産が168億3千1百万円、流動資産が8億3千8百万円の176億7千万円で、前年度に対して5億2千4百万円(2.8%)の減少となっています。主な要因は、減価償却(損益外減価償却費を含む)による減少(6億7千7百万円)及び未収附属病院収入の減少(1千9百万円)、並びに現金及び預金の増加(1億2千1百万円)及び備品等の取得による増加(6千万円)によるものです。

資産のうち、有形固定資産が95.2%を占め、このうち県から出資を受けた土地・建物が159億7千8百万円で90.4%を占めています。

負債は、固定負債が7億4千3百万円、流動負債が4億7千4百万円の総額12億1千8百万円で、前年度に対して7千万円(5.4%)の減少となっています。主な要因は、資産見返負債の減少(6千8百万円)及び未払金の減少(1千9百万円)、並びに運営費交付金債務の増加(1千万円)及びリース債務の増加(7百万円)によるものです。

なお、資産見返負債(注1)が6億6千3百万円と負債総額の54.4%を占めており、また、流動負債では、未払金が3億1千1百万円と65.6%を占めています。

純資産の部の総額は、164億5千2百万円で、前年度に対して4億5千4百万円(2.6%)の減少となっています。その主な要因は、県から出資された建物の減価償却等による損益外減価償却費(注2)が5億3千7百万円増加したこと及び利益剰余金が8千2百万円増加したことによるものです。

(単位:百万円)

資産の部	26年度	27年度	増減	負債の部	26年度	27年度	増減
固定資産	17,447	16,831	▲616	固定負債	805	743	▲61
有形固定資産	17,443	16,829	▲614	資産見返負債	732	663	▲68
(土地)	2,031	2,031	0	長期リース債務	73	79	6
(建物)	14,486	13,947	▲539	流動負債	483	474	▲8
(構築物)	317	304	▲12	運営費交付金債務	9	20	10
(工具器具備品)	89	79	▲10	寄付金債務	64	64	0
(医療用工具器具備品)	214	146	▲68	預り科学研究費補助金等	16	14	▲2
(リース資産)	93	107	13	預り金	26	22	▲3
(図書)	187	189	2	前受受託研究費	4	3	0
(美術品)	22	22	0	前受共同研究費	2	3	0
無形固定資産	4	2	▲1	前受金	1	0	0
流動資産	747	838	91	未払金	331	311	▲19
現金及び預金	562	684	121	リース債務	22	29	7
未収学生納付金収入	0	0	0	未払消費税等	4	2	▲1
未収附属病院収入	157	138	▲19	負債合計	1,288	1,218	▲70
その他の未収入金	9	0	▲9	純資産の部	25年度	26年度	増減
たな卸資産	1	1	0	資本金	19,679	19,679	0
医薬品及び診療材料	15	13	▲1	資本剰余金	▲2,832	▲3,369	▲537
前払費用				利益剰余金	59	142	82
資産合計	18,195	17,670	▲524	純資産合計	16,906	16,452	▲454
				負債純資産合計	18,195	17,670	▲524

注)表示単位未満については切捨て表示しています。

注1 資産見返負債とは固定資産を取得した場合に相当する財源を振り替え、当該資産が費用化(減価償却費)される時点において資産見返負債戻入として収益化する会計処理のための勘定です。

注2 県から出資された教育・研究・診療用の建物は、減価償却費に見合う収益の獲得が見込めないことから、減価償却処理を損益計算書に反映させず、損益外減価償却費として資本剰余金から控除する取扱いになっています。

II 損益計算書

経常費用は、業務費が30億7千6百万円、一般管理費が2億7千7百万円、財務費用が2百万円等の総額33億5千8百万円で、前年度に対して8千4百万円（2.4%）の減少となっています。その主な要因は、一般管理費、教育経費、診療経費、職員人件費、及び研究経費の減少によるものです。

なお、業務費において大きな割合を占めているのが教員人件費（43.1%）となっています。また、一般管理費において大きな割合を占めているのが、施設維持管理にかかる報酬・委託・手数料（7千1百万円）、保守委託費（6千7百万円）となっています。

経常収益は、運営費交付金収益が16億7千2百万円、附属病院収益が10億6千8百万円、授業料・入学金・検定料の学生等納付金収益が4億7千1百万円等の総額34億5千1百万円で、前年度に対して4千2百万円（1.2%）の減少となっています。その主な要因は、運営費交付金収益、及び附属病院収益の増加並びに寄附金収益、資産見返負債戻入、補助金収益の減少によるものです。

（単位：百万円）

費用の部	26年度	27年度	増減	収益の部	26年度	27年度	増減
経常費用	3,442	3,358	▲ 84	経常収益	3,494	3,451	▲ 42
業務費	3,108	3,076	▲ 31	運営費交付金収益	1,628	1,672	44
教育経費	185	156	▲ 29	授業料収益	398	398	0
研究経費	182	173	▲ 8	入学金収益	65	63	▲ 1
診療経費	687	658	▲ 29	検定料収益	10	10	0
教育研究支援経費	40	39	0	附属病院収益	1,053	1,068	14
受託研究費	6	6	0	受託研究等収益	7	6	0
役員人件費	40	39	0	補助金収益	86	70	▲ 16
教員人件費	1,279	1,327	48	寄付金収益	72	21	▲ 51
職員人件費	686	675	▲ 11	その他の業務収益	0	1	1
一般管理費	330	277	▲ 53	資産見返負債戻入	112	85	▲ 26
財務費用	2	2	0	財務収益	0	0	0
雑損	0	1	1	雑益	58	53	▲ 4
臨時損失	1	11	10	臨時利益	2	1	0
				当期純利益	52	82	30
				目的積立金取崩額	0	0	0
				当期総利益	52	82	30

注)表示単位未満については切捨て表示しています。

上記費用及び収益に係る増減理由により、収益から費用を差し引いた差額である当期純利益は8千2百万円で、前年度に対して3千万円増加しています。

また、当期総利益も8千2百万円で、前年度に対して3千万円増加しています。